

1. 件 名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（美浜発電所、大飯発電所及び高浜発電所 原子炉施設保安規定変更認可申請（組織改正【1】））」

2. 日 時：令和4年3月22日 13時30分～14時40分

3. 場 所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（◎・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

関企画調査官、鈴木主任安全審査官、西内安全審査官、畠山安全審査官

関西電力株式会社：

原子力事業本部 原子力企画部門

原子力企画グループ マネジャー◎ 他8名◎

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料1 美浜発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書審査資料
- ・資料2 大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書審査資料
- ・資料3 高浜発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書審査資料

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の畠山です。これより、関西電力、大井、美浜、高浜の保安規定変更認可申請、組織改正に関するヒアリングを行いたいと思います。
0:00:14	今回は初回のヒアリングですので、関西電力から概要説明のほどお願いいたします。
0:00:25	関西電力のMEと申します。本日いただきまして、ありがとうございます。
0:00:30	組織改正ほかに伴う保安規定の改正ということで資料1ですね次も続き、ご説明をさせていただきたいと存じます。
0:00:40	冒頭NISAの衛生時番号で、順次参照先を共有させていただきたいと存じます。
0:00:47	1ページが目次でございますけれども大きく三部構成でございまして、まず1ポツ、組織関係他の概要、目的、2ポツ、組織改正ほかに伴う温泉の変更内容、
0:01:01	3ポツ、美浜発電所の記載の適正化についてということで大きく三部構成でご説明をさせていただきたいと存じます。
0:01:09	先ほども申し上げました通りこそ本日初回でございますので、少し丁寧にご説明をさせていただきたいと考えてございます。
0:01:19	2ページ以降組織改正他の概要目的でございます。
0:01:23	最初に3ページでございます。組織改正の概要目的三分の1というところがございますけれども、いくつか組織体制の案件がございます一つ目がこの3ページ、①番。
0:01:37	美浜発電所の保修課関係組織の統合でございます。
0:01:42	冒頭のところ記載しております通り、美浜発電所につきましては1から3号機でございますけれども、このうち、12号機が廃止措置体制となっております。
0:01:53	その状態に合わせました最適な組織体制の構築のため、大飯発電所と同じく、保修課の統合を実施するというものでございます。
0:02:04	下の図で減棒と改正後というところを比べていただきますと、
0:02:09	電気保修課と計装保修課が統合されて、電気保修課に、
0:02:16	原子炉保修課とタービン施設が統合されて、機械保修課となるということで、上の文章を4行目に記載の通り、こういった形でですね、様々な仕事を
0:02:28	経験できるようにするというところで、要員のスキル向上であるとか、業務の幅を広げて、さらなる安全性の方の向上につなげていきたいと考えているものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:39	同等の組織改正につきましては、先般前回の組織改正において、大飯発電所で実施済みでございまして、本件の認可もちょうだいしているところでございます。
0:02:52	本件は美浜に関する組織改正の内容でございまして。
0:02:57	次が 4 ページでございまして。
0:03:00	これがですね先般いろいろちょっと情報、事前の情報提供が不十分で大変ご迷惑をかけてきた内容でございまして。
0:03:08	美浜及び大飯発電所の廃止措置プラントにおける体制現行でございまして。
0:03:16	美浜及び大飯発電所においては、廃止措置工事が今後 20 年とかそういったスパンでですね継続していくということを踏まえまして、反映措置工事課を新設し、廃止措置に係る工事責任体制を明確化するというところでございまして。
0:03:30	また発電室にはですね廃止措置管理課長と衛藤局長というのを新設いたしまして、廃止措置に係る設備の維持管理体制も明確化するというところでございましてけれども、
0:03:43	いずれもですね左、下のですね表にあります通り現法の職員からですね、基本的には職務の内容を含めて、大きく変わるというものではございません。
0:03:55	下の図をご覧くださいまして、まず現行でございましてけれども、機械工事グループ廃止措置というふうに書いてございまして。
0:04:04	この機械工事グループというのが、発電所長の指示に基づき、措置工事に係る業務を実施するというようにしておりましたけれども、
0:04:15	今後、今般ですね廃止措置工事カトウというのを新設をいたしまして、
0:04:21	今後の廃止措置に対応していくということでございまして。
0:04:24	先般のですね 10 関係のご説明の際にも申し上げました通り、組織全体として、保安のために講ずべき措置に必要な職務として、明確に変更になるというところは特にございません。
0:04:37	それから、発電室におきましても、左下、現行の通り、定検課長であるとか、当直課長ということで、運転中プラントを念頭に置いた職員の名称の記載になっているというところでございますけれども、
0:04:53	廃止措置プラントにつきましては、経験というものが基本的にはございませんので、やはり現状にかんがみますと、定検課長という職位は少し組織には馴染まないかと。
0:05:07	ということから、廃止措置管理課長という名称に変更したいというふうに考えているものでございまして。
0:05:15	当直課長につきましてもこれはですね、この廃止措置管理課長のもとで、当直業務を行う長ということでですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:25	運転中プラントは早野当直課長としておりますけれども、運転中プラントウとのですね、職員の名称の差異を明確にするということを踏まえて、
0:05:36	他社事例も参考にですね、磯知プラントについては、当直長という名称に変更する、当直課長のもとで当直業務を行う、当直長を新設するというでございます。
0:05:48	基本的な職務の内容は、現行にある定検課長当直課長から変更になるというものではございません。
0:05:55	それから5ページでございます。こちらが組織改正の三つ目の案件でございます。
0:06:02	美浜、高浜及び大飯発電所における土木建築工事グループの廃止という案件でございます。
0:06:11	端的に申し上げますと同建築工事グループというのは、各発電所における、特重施設の投資を実施するためのですねある意味人間的に実施された。
0:06:23	グループでございます。
0:06:25	今後、特重工事の終了が見込まれますので、これに伴いまして、廃止をするということで考えてございます。
0:06:35	処理関係の案件につきましては、以上となりまして、35%にですね一つ、職務の見直しということで一つ案件を記載の整理をしてございます。これが6ページ以降となります。
0:06:49	6ページでございますけれども、美浜赤浜及び大井発電所における職務の見直しということでございます。
0:06:58	6ページがですね少し図がごちゃごちゃとしておりますので、まず、増員で職務の見直しをするのかというところの概要をですねちょっと順番が逆になって大変恐縮でございますけれども、
0:07:11	8ページと9ページで先に、ご説明をさせていただきたいと存じます。
0:07:17	大きくはですねS E 関連の総括業務、それから、9ページは、デービー関連の総括業務の一元化という内容でございます。
0:07:27	まずS A 関係ということで8ページをご覧くださいと存じます。
0:07:32	上のリード文に記載の通り、丸の一番、少し状況ですけれども読み上げさせていただきますと、重大事故等発生時及び大規模損壊発生時の体制の整備に関する業務の総括、
0:07:46	これは逆に申し上げますと、S A S A に関する業務の総括ということになります。
0:07:53	下の図を見ていただきますと少し水黄色でハッチングしているところ、右の大きな部分が、この①番、S A 関連の業務ということでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:05	今、我々はですね、日々有事、万が一のS Aの対応を発生に備えまして、
0:08:13	常時、必要な要員というのを、当番という形で確保してございます。
0:08:20	日々、全体指揮者、ユニット指揮者と、緊急安全対策要員等ということで、いわゆる事故時に本部要員になるものと、事故時に現場要員になるものというのを、
0:08:32	休日、それから夜間を含めて、常時一定の体制を発電所に確保するというので、こういった体制の整備等場の管理といった業務を、例えば美浜であれば、現在、技術課が実施をしております。
0:08:48	こういった有事に備えた当番体制をもとに、万が一の事故発生時におきましては、②番、左側の通り、防災の対応ということで、
0:09:00	緊対本部であるとか、給水等の現場活動に資するように体制を構築しているという状況でございます。
0:09:08	新居浜発電所の例で申し上げますと、左側の防災、要は事故が発生した後の対応に関しては、安全防災士が取りまとめている一方で、
0:09:18	右の①番、S Aに関連する業務につきましては、
0:09:22	美浜発電所のみ現状が技術課というところになっているということで、やはり、有事に備えた体制の構築等、実際、井口の対応というところは、
0:09:35	業務の関連性を踏まえると、同じ色、同じ職場ですね、業務を実施することがやはり望ましいというふうに考えたものでございます。
0:09:47	ここで2番発電所につきましては、①番の業務につきまして技術課から安全防災時に帰還をするということになります。
0:09:57	佐久間通りはこのような一元化というのをすでに実施をしております、今回美浜についてこの移管を実施することで3サイトの横並びを図ることができるというものでございます。
0:10:08	8ページがS A S Aに関連する内容でございます。
0:10:13	もう1点、変更が9ページでございます。デザインベース、設計基準に関する業務の内容ということでございます。
0:10:21	こちらもちょうど状況ですけども、利用分のところの記載を読み上げさせていただきます。
0:10:26	火災発生時、内部溢水発生時、火山影響等発生時、その他自然災害発生時等及び有毒ガス発生時の体制の整備に関する業務の総括。
0:10:37	これを我々、設計基準、デービー関連の総括業務というふうに呼んでおります。
0:10:43	同じように下に色のハッチングをしたところで、右半分がこのベイビーに関する業務。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:50	左半分が現状、保全計画課というところが担っている原子炉施設の保守、修理の総括に関する業務ということで、イメージを記載しております。
0:11:02	右の、このDBに関係する業務につきましては、括弧の中で、安全防災室等と書いておりますけれども、横浜と大飯の例で申し上げますと、安全防災室というところが、現状この業務を担当してございます。
0:11:18	今回これを保全計画課に移管をしたいというふうに考えてございます。
0:11:24	やはりから順番に保全計画に関する理由を説明させていただきます。
0:11:29	まず左、②番の図を見ていただきますと、この保全計画課というところにつきましては1名がいくつかございますけれどもこのPPになっているところでございまして、
0:11:39	括弧の中、保修課他が実施する経験工事等の取りまとめということで、工事全体を総括しております。
0:11:48	この保全計画課の下に、例えば原子炉保修課ん勉強保修課といった補修関係の組織がついておりますけれども、
0:11:57	例えば一番左上にございます原子炉保修課が定検工事等の保守作業を実施するということが、例えば定検前に必ず発生をいたします。
0:12:08	この補修作業というのは、やはり、下にあります通り、作業の計画をして、現場作業をして、確認検査をして、完了報告をすると。
0:12:19	いう一連の流れになりますけれども、
0:12:22	例えば現場作業を実施する際には、こういった保守作業に伴いまして、建屋の中に、例えば機材のメンテナンス用の可燃物、給油のための油といった、
0:12:33	そういう可燃物を持ち込むといったことが、発生する場合がございます。
0:12:38	こういった工事に伴って、そういうその可燃物の持ち込みであるとか、そういったものがですね、安全上影響を及ぼさないと、いうことは、作業の計画段階で審査承認得るという式を、私たちは我々の会社の中では、確立をしております。
0:12:56	右の方に行っていただきますと、原子炉保修課が、この取りまとめである、今後、保全計画下に審査承認箇所を移管するという前提で記載しておりますけれども、
0:13:08	作業担当課から、工事実施時の火災防護対策というのを作業計画に織り込んで、
0:13:15	保全計画課に提出の上、審査承認を受けるということで、
0:13:19	例えばあの表に記載の通り、可燃物や危険物が有無、
0:13:24	それから、保管するものは何なのか、どこなのか、それをどう火災をどういう発生をするのかといったことも、審査承認を受けるという内容にしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:35	先ほど申し上げました通り、左の保守修理の総括全般は保全計画か。
0:13:41	高浜大井の例でいきますと、右側の、この審査承認という行為は、安全防災室というところが、現状になっておりますけれども、
0:13:51	こういった可燃物の持ち込みといったところを、ある意味状況変化というのは、工事を実施することに伴って、やはり状況変化が発生するというのがあの方にしてよく起こることでございます。
0:14:04	ですのでやはりこういった経験工事等を総括するという保全計画課というのは、工事の内容も非常に多く、理解をして確保しておりますので、保全計画課にですねこういった審査承認情報というの、一元化するということが、
0:14:20	安全確保の観点からも望ましいのではないかとというふうに考えたものでございます。
0:14:24	ちょっと8ページと9ページで、このような職務の一元化を実施することで、3サイト間等で整合を図りたいということが、今回の主な目的ということになって参ります。
0:14:38	次に6ページのその上で6ページに戻っていただきまして、保安規定の主語がどのように変わるかというのを1枚にまとめたものが6ページでございます。
0:14:51	大きくですね先ほど申し上げましたまず、左半分、美浜のS A関連、
0:14:57	美浜のJ D関連、
0:14:59	それから、高浜東井はデービー関連のみの変更となっております。
0:15:05	業務につきましては、P E C AということでAプラン、それから、C h e c kとA c t i o nの部分、我々は総括業務ということで、一元化をし、
0:15:16	保安経営上の主語というふうに明記してございます。
0:15:20	ありから順に美浜の結成関係で申し上げますと、現状は、このプラン、それからき後の部分の主語に、安全防災室と、技術課というのが、日本の発電所では少し混在している状況でございますので、
0:15:36	これを安全防災室に、一元化をしたいというふうに考えてございます。
0:15:42	真ん中、美浜のD B関連でございますけれども、こちらも同様に、火災であれば、所長室、
0:15:49	保全計画課といったところに混在していたり、
0:15:53	今日の議論は技術課ということで、様々な管理ですね、業務を跨っているという状況がございます。
0:16:01	これらを一元的に保全計画課に集約をするということを考えております。
0:16:07	同様に、高浜と大飯、つきましても、このデービー関係の業務は、現状、安全防災位置にございますけれども、保全計画課、先ほど申し上げました定検工事等との親和性を考えまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:21	保全計画課に統合することで、美浜、大飯、高浜間での手法というのを合わせるというふうにしたいと考えてございます。
0:16:30	ちょっと説明を飛ばしてしまいましたけれども、7 ページに、保安規定上のこの P D C A というものが、例えば一つの 050 にですね、どのような主語の規定になっているかというところを 7 ページでお示しをしております。
0:16:45	左下に第 18 条、火災発生時の体制の整備というところがございますけれども、
0:16:51	赤字で保全計画課長はと書いている、第 18 条第 1 項の部分。
0:16:57	ここがいわゆる去年に関係する内容、例えば社内標準の策定といった業務に相当するところでございます。
0:17:05	それから、定められたプランに基づきまして第 2 項、各課室長はということで、この部分で体制であるとか、手順の整備を実施する理由の部分となって参ります。
0:17:18	それから第 3 号、保全計画課長ということで、チェックアクションの部分、これは計画に対する評価、それから必要な措置ということで、一元的に管理する意味での主務の記載というところでございます。
0:17:32	こういった職務の見直しをすることで、美浜発電所 3 号機におきましても、再稼働後に至りましたので、3 サイトウの統一を図って、今後発電所を安全安定に運営をしていきたいというふうに考えてございます。
0:17:47	以上が組織改正及び、職務の変更に関する内容のご説明でございます。
0:17:54	これを踏まえまして、保安規定がどのように変わるかというところを、第 2 ボツ、10 ページ以降で整理をしておりますので、
0:18:03	今は今ほど申し上げました内容に基づきましてもう少し詳細にご説明をさせていただきたいと存じます。
0:18:11	最初に 11 ページでございます。
0:18:13	美浜及び大飯発電所の廃止措置プラントにおける体制変更でございます。
0:18:19	図の下ですね、組織図に記載の通り、廃止措置工事課長再措置管理課長当直長といったものを新設をするということで、説明割愛させていただきますけれども、破線の中に記載しているものと、主な業務ということで基本的には今の実施業務と変更になるものではございません。
0:18:39	12 ページでございます。
0:18:42	併用の記載がどのように変わるかということで現行と改正後に比較をしてございます。
0:18:48	大きく今申し上げました三つの色に関する変更でご説明をさせていただきますと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:53	まず、12 ページ、改正後の一番右下、両（22）と書いておりますけれども、廃止措置工事課長に関する職務規定について記載を追加しております。
0:19:06	それから、廃止措置管理課長につきましては、従来の定検課長から廃止措置管理課長に変わるということで、現行側、左半分の両（14）が、
0:19:17	改正後の右上、医療（13）に移行。
0:19:21	合わせまして、現行による、左側の（13）、当直課長はと記載しておりますけれども、受右側でいく、14 と 15 というところに、
0:19:32	運転中プラントは増殖架橋相槌プラントは当直長ということで書き分けをする変更内容を反映させていただいております。
0:19:43	次に 13 ページ、美浜の補修関係組織の統合についてでございます。
0:19:49	こちらにつきましては、13 ページの説明よりもですね、12 ページの説明すいません、14 ページの方が、ご理解いただきやすいかと思っておりますので、説明内容は同等でございますので 14 ページをご参照いただきたいと思います。
0:20:04	深山発電所の補修関係組織の統合でございます。内容は大井と同等でございます。
0:20:10	電気募集課と計装保修課というのを統合することから、改正後の右側、両（17）の通り、
0:20:19	主語は電気保修課長になり、原子炉施設の電気設備及び計装設備という形で追記をさせていただくものでございます。
0:20:29	同様に、現行の両（18）両（19）につきましても、右の 18 の通り、液体保修課長に統合するということで、
0:20:40	こちらは統合されることでですね、現行の 18 に例えばありますように、原子炉保修課長の所掌、機械設備で、（3）に設備除くと。
0:20:51	いう記載は今後、それが不要になるということでございます。
0:20:57	それから、15 ページ、土木建築工事グループの廃止に関する内容でございます。
0:21:04	こちら表の中をご参照いただきまして、（18）、それから（20）（21）とございますけれども、まず、（21）、土木建築工事グループ課長はという主語につきましては、
0:21:17	組織の廃止に伴いましてこの記載が削除されてというものでございます。
0:21:23	この（21）に記載されております。土木設備及び建築物に係る保守、修理につきましては、今後土木建築課長が、
0:21:33	また、高経年対策の推進に関する内容につきましては、上の（20）の通り、基幹工事グループ課長のところに引き継がれるということになりますので、
0:21:43	このような変更となっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:47	最後に職務の見直しということで 16 ページをご参照いただきたいと存じます。
0:21:54	この部分がですね非常にちょっとわかりにくくて恐縮でございますけれども、先ほどのご説明をまとめますと、16 ページ、40 の下二つポツがございます。
0:22:04	今回の変更内容は、端的に申し上げますと、A B 関連の総括業務を、保全計画課、
0:22:11	S A 関連の総括業務については安全防災性に関するということでまとめとなります。
0:22:18	これを反映いたしますと、表の通り、まず上半分、美浜につきましては、
0:22:24	両括弧 5、安全防災室長はというところになりますけれども、右に記載の赤字の通り、S A に関係する総括の業務が追加されるということになって参ります。
0:22:36	同じく保全計画課長につきましては、D B 関連の記載が追加になるというものでございます。
0:22:43	一方高浜と大飯につきましては、現行の両括弧を見ていただきますと、安全防災室長の中に、D B 関係の業務の総括等、是正関係の業務の総括というのが、両方とも職務として勉強されていると。
0:23:01	ということになります。
0:23:02	変更内容をご説明するといいたしますと、この安全防災室長の現行の職務にある J B の業務を、右下、保全計画課長のところに移管するというこ
0:23:15	とで、
0:23:15	結果的にこの改正後につきましては、浜高浜大友に整合がとれた内容になるというものでございます。
0:23:24	17 ページにつきましては、先ほど申し上げましたご説明の通りですね、主語がどのように変わるかということでございますけれども、18 条の 2 の第 1 項、プランの部分の業務につきましては、
0:23:38	保全計画課長、これ美浜の例でございますけれども、一方と、第 3 項の部分について、ここはデービー関係の例を参照しておりますので、いずれも保全計画課長に統一を図るという内容となっております。
0:23:54	17 ページまでは以上でございます、説明者かわりまして 18 ページから、右側の記載適正化についてご説明をさせていただきます。
0:24:02	はい。私金最後放管グループ放射線管理グループの林です。私の方から 18 ページからの 3、美浜の記載の適正化についてご説明させていただきます。資料の方右方 19 ページ、保護、
0:24:16	ご確認ください。美浜記載の適正化 2 分の 1、そして保安
0:24:21	原子炉施設保安規定図 114、空気吸収線量率等の測定場所、
0:24:28	こちらの図面につきまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:30	測定場所図のうち、記載の記号を適正化したいと思います。なお、本来測定すべき吸収線量の測定については実施していることから、管理上の問題はありません。
0:24:44	同様にですね、19 ページ目も
0:24:48	すみません申し上げました 20 ページ目 2 分の 2 になりますけど、こちらの方原子炉施設保安規定図、181。
0:24:56	これ先ほどの図と同様に、先ほど運転プラントのですね、
0:25:01	こちらのほう廃止措置、本店の方の前提であります。こちらについても同様に適正化をしたいというふうに思います。
0:25:09	私の方からは簡単ですが、以上となります。
0:25:13	関西電力がございます。ご説明については以上でございます。よろしくお願いします。
0:25:25	原子炉規制庁の畠山です。私の方から何点か、事実確認をさせていただきたいと思っております。
0:25:33	今回いただいているヒアリング資料、審査資料の概要パワーポイント説明資料、右肩で、
0:25:40	まず 4 ページをお願いいたします。
0:25:44	組織改正の概要のところで、挨拶プラントにおける体制の変更についてちょっと確認をさせていただきます。
0:25:52	今回、機械工事グループの職務のうち、廃措置に関する業務を新設される廃止措置工事課に移管されるということで、まずご説明いただいたかなと思いますが、
0:26:05	ちょっとページ変わって、12 ページをちょっと。
0:26:09	開いていただくと、具体的に、
0:26:12	それがどのように本での 141 条に書かれるのかということで、記載いただいてるかと思います。
0:26:18	で、
0:26:18	この中で、
0:26:21	新しく廃止措置工事課長というものが新設されますと、
0:26:25	ということで、その廃止措置工事課長が、廃止措置工事の業務を、
0:26:31	になりますということを書かれています、
0:26:33	移管される。
0:26:35	側の、
0:26:36	近い工事グループの職務というのは今回変更はないということになっているかと思います。
0:26:41	この機械工事グループ、
0:26:43	において、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:45	体制変更ですね。
0:26:48	廃止措置業務っていうのは、残った状態になるかと思えますけども記載上は、
0:26:53	これはどのような業務を今後行うことになるのか、ちょっとご説明いただきたいのと、機械工事グループと排出構築廃止措置工事課の
0:27:02	職務分担ですね、業務分担を
0:27:05	ちょっと今、11 ページとかでは、配置工事河内川中といったものを持ってますっていうことが書かれてますが、
0:27:13	これの他にどういったものが、
0:27:15	機械工事グループで考えられるのか、そういったところの観点でご説明いただきたいと思えます。
0:27:20	お願いします。
0:27:23	はい。関西電力の乾でございます。
0:27:26	ちょっと説明が話を作っておりまして大変申し訳ございませんでした。
0:27:32	これは弊社のちょっと組織の特性ということになりますけれどもまず機械工事グループというグループの中には、福士芽乃課長がおります。
0:27:44	そのうちの1人が機械工事グループ課長、括弧廃止措置、
0:27:50	それ以外にもですね、例えば特重関係の方での機械や電気設備の工事をするために、
0:27:58	同じく機械工事グループ、括弧、特重工事という形で、そういった改造工事等を、のプロジェクトを実施する機械工事グループの中に別の課長もおります。
0:28:13	こういったいわゆる特別ミッションを課長を、機械工事グループの課長とする中で、この機械工事グループのですね、職務につきましては、
0:28:27	原子炉施設の機械設備、
0:28:30	土木設備及び建築物に係る保守及び高経年対策の推進のうち、所長が指定したものに関する業務を行うと。
0:28:42	いう職務の記載になってございます。
0:28:45	今回、機械工事グループを通じ、廃止措置工事に係る機械工事グループ課長につきましては、基本的にはもうこの廃止措置工事課長に全面的にも変更になると。
0:29:00	ということになるんですけれども、特重工事等はですね、当然やはりまだ工事が継続しておりますので、結果的に、使い工事グループ課長に関する職務の記載、所長が指定したものに関する業務を行うと。
0:29:16	いう職務の記者に関しては、こういった特重工事等を念頭に記載が残ることから、12 ページのですね、現行、左側には機械工事グループというところの職務は、
0:29:31	削除になるという形で表示をしていないという部分でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:36	ですので、ちょっとその点は少し説明が不足して恐縮でございますけれども、基本的には機械工事グループのうち、廃止措置工事に係る課長の業務というのは、
0:29:47	100％は磯知工事課長に、今後は変わるというふうにご認識いただければと考えてございます。
0:29:59	原子炉規制庁の畠山です。今のご説明で機械工事グループの中に複数課長がいて、その中にいる課長も廃止措置を担っている課長が、
0:30:08	今後は磯知工事課長と変わるということは理解いたしました。他方を、
0:30:15	今回、機械工事グループに担うその課長の中では措置に関するものは特Aと、すべて廃止措置工事課長に移管されるというご説明があったかと思ってます。
0:30:27	で、
0:30:28	変更後の保安規定の記載だと、機械工事グループ課長は、原子炉施設の機械設備、土木設備及び建築物に係る保守、修理及び
0:30:39	廃措置工事のうち、所長が指定したものに關する業務を行うと書かれているんですけども、
0:30:44	変更後において、この課長、土岐西郷1グループ課長は廃止措置工事で何かしら指定を受ける可能性があるんでしょうか。今野。
0:30:53	御説明だとないと聞こえたのかと思ったんですが、ちょっとそのところをご説明お願いします。
0:31:00	はい。関西電力の乾です。基本的にはですね今のところ何か具体的に想定しているというものはございません。
0:31:10	ただ、ICH工事につきましましてはかなり長い対応となりますので、今後ですねちょっとまだ、まだまだ不確定要素はあると考えてございます。
0:31:24	万が一市工事を進捗する中での状況変化に応じて、廃止措置工事課長だけでは対応できないような、そういったものがもし発生した場合には、
0:31:37	それを所長が指定することで、機械工事グループ課長に特別なミッションとしてプロジェクトを与えてやるという可能性もゼロではないんですけども、
0:31:49	少なくとも現状におきましては廃止措置工事課長がですね、発電所における廃止措置工事に関する総括、それから、原子炉施設の廃止措置工事に関する業務というのを、
0:32:03	一元的に実施をしていくということでございます。
0:32:06	ただ、12ページの右下22のところをご参照いただきますと、
0:32:14	職務の記載の中で下、括弧を記載してございまして、
0:32:20	放射線管理課長、電気必修課長、機械必修課長、土木建築課長、電気工事グループ課長及び機械工事グループ課長、所管業務を除くということですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:33	当然、廃止措置の工事を進捗していく中においては、基本的には解体工事、主要な建屋の解体工事をですね、実施をしていくのが廃止工事課ということになるんですけども、
0:32:47	既存の運転していた時の設備を、干渉物として撤去するとか、そういった事前準備の中においては、廃止措置工事課と、それからこの確保の中にある各課でコミュニケーションを実施した結果ですね、
0:33:04	役割分担をして、廃止措置工事を安全に進めていくということで、このような所管業務を除くというトライに実施をしてですね、
0:33:15	職務を明記しているというところでございます。
0:33:26	原子力規制庁の竹山です。まず、機械工事グループ、野間社長、江藤課長ですか、これは基本的に社長から何かしらの紙、指定事項がなければ特段ないということと、今後の廃止措置を見据えて、
0:33:41	記載残しているというご説明は、
0:33:45	承知しました。
0:33:47	で、
0:33:49	続けてちょっと別の質問をさせていただきます。ちょっと今の話については引き続き確認させていただきます。
0:33:57	そして、
0:33:58	次、
0:34:01	概要説明資料 6 ページちょっとお開きいただければと思います。
0:34:13	今回ご説明いただいている中で職務の見直しがあって、例えば美浜であれば、所長室であったり、技術課が持っていた DB 関連業務を、
0:34:24	保全計画課に移管されるということで、
0:34:28	これちょっとご説明は理解。
0:34:30	来たんですけども、
0:34:31	実際それがですね、
0:34:34	16 ページですかね。
0:34:39	16 ページを見る限り、あとは申請書の方見る限りですね。
0:34:44	安全防災室長であったり、保全計画課長っていうところで、業務の総括に関するというのはまず書かれているのは認識したんですが、
0:34:55	例えば
0:34:56	技術課、
0:34:58	とか、所長室長の職務っていうのは、今回、前後表という形では変更がないと認識してます。
0:35:06	実際その技術課長こういったこと書かれてるかという申請者では発電所の技術関係事項の総括というのがまず、他の職位で書かれていますけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:16	他の職位だと例えばそういった業務をするときに、
0:35:20	括弧書きで、00 課長の業務を除くといった形で切り分けがなされているかと思いますが、この技術課長というのは、その他、特に今回、
0:35:29	改正によって、保全計画課長に移管される業務というのは、どのように整理されているのか、ちょっとご説明いただけますでしょうか。
0:35:43	はい。関西電力の乾です。技術課長が実質その発電所の技術関係事項ということではございます、例えば
0:35:55	あとはならないですけれども、労働災害によるトラブルが発生したであるとか、そういった対外通報の対応であるとかですねあとは、
0:36:06	ベース業務である例えば定検申請あるとか、刑事事件という検査の取りまとめ業務、そういったいわゆる
0:36:16	新規性で増えたエッセイ関係、J B 関係の業務ということではなく、従来、新規制基準適用前から実施しておりました。
0:36:27	いわゆる発電所の定期検査といったそういう業務をですね、まわしていくための総括箇所ということで技術課の職務の記載というのはしているというところがございます。
0:36:39	今回 16 ページに記載しておりますエッセイ関連の総括業務、それから D B 関連の総括業務というところにつきましては、
0:36:49	新規制基準の適用によりまして、新たに要求内容が含まれた部分の業務ということでですね、技術課のところとは基本的には切り離した職務の記載とをしているというところがございます。
0:37:06	ですので結果支店の技術課の職務後については変更はございませんけれども、今回の変更の趣旨にかんがみまして、衛生に関する業務、それからデービーに関する業務の内容については、
0:37:20	それを所管する課室長のもとにですね、明記をしっかりと、新規制基準対応で増えた業務を着実に実施をしていくということで変更かけたいと考えているものでございます。
0:37:35	原子炉規制庁の畠山です。今ちょっとご説明いただいていたのが正しい理解でいいのか、ちょっと私のに聞いた限りの所感を申し上げますと、今ご説明だと、
0:37:48	新規性で追加された事項に関しては、
0:37:54	従前の技術課長の技術関係事項の総括というところで読まないっておっしゃってたんですかね、テナントが宙ぶらりんに。
0:38:01	思うんですけども。
0:38:03	ちょっともう一度ご説明いただけますか。
0:38:20	関西電力の乾です。有害の発電所の技術関係事項というところにはですね基本的には F A とか D B の業務とは別物という形で、
0:38:36	色も記載をしているというふうには認識をしてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:45	今の後、原子炉規制庁の常盤です。今のご説明となったときに、DBであったりSAっていうのは、変更前どうやって読むんでしょうか。
0:38:53	どこに書かれているのかがよくわからないんですけどもちょっとご説明いただけますでしょうか。
0:39:01	反対にフジカワでございます。すいません。今野。
0:39:05	問いかけて、ご指摘の趣旨がよくわかりましてこれ実はちょっと経緯もございまして、サイドバイサイドになってるのが実態でございます。
0:39:17	具体的には16ページの方で、赤字で追加をした記載というのはですね、まず、高浜、大飯に関して申し上げますと、過去に、
0:39:29	ASME業務の一元化ということで、組織改正をさせていただいて、その時に、この赤字の記載というものを追記したと。
0:39:40	一方で、美浜は、先般、再稼働した
0:39:46	ということで、SD業務一元化ということは、やっていなかったと、いうことで16ページの表の上側にあります通り、この赤字の記載っていうのは今回初めて、
0:39:58	地域性で追加された業務として、明記した。
0:40:03	いうものでございます。従って、美浜の方は、今の畑山さんのお問いかけにあったように、技術課で言えばですね、
0:40:13	警備業務なり、やってるところがありまして、もうそこは技術関係の総括というところで、職務上は、読むしかないのか。
0:40:23	いうところで、ちょっとすみません
0:40:25	サイトウによってこの組織の経緯とかが違っていて、職務の記載、或いはその読み方っていうところが、必ずしも統一した説明になっていないというところはございます。ただ、今回、
0:40:39	16ページの表の右側にあります通り、SD業務を血清は、安全防災室でBは保全計画課に集約することで結果して3歳と今回の変更でもって、
0:40:53	統一した主体とできるようにですね、今回変更申請をさせていただくと、そういう位置付けでございます。以上です。
0:41:13	原子力規制庁の畠山です。ちょっと各発電所で定義が異なっているということも含めて、まずは理解いたしました。
0:41:24	ただ、
0:41:25	美浜の例で言えば、
0:41:28	今、発電所の技術関係事項の総括というところに、
0:41:33	関西電力さん。
0:41:34	の言い方でいうと、ちょっとオーバーをしているものも含めて説明をいただいと。
0:41:40	この技術の総括というところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:42	含めて、今までは整理していて、これを明確化させるために今回改正されるということですね。
0:41:51	関西電力の井上とすいませんちょっと私のご説明先ほどちょっと悪かったかもしれませんがけれども変更後を念頭にちょっと私先ほどご説明をしてしまいまして、
0:42:02	今回 B 棟、それから S A の総括の業務ということをですね、補足資料の 16 ページにある通り、明記をし、すでに一元化をしている高浜大井との整合を図ることで、
0:42:17	今後の処遇につきましては、技術課の技術関係事項の総括、
0:42:24	それと保全計画課の D B 関係業務の総括、
0:42:29	安全防災室の S E 関係業務の総括ということを明確に書き分けをすることができるようになるというふうにご理解いただければと存じます。
0:42:51	原子力規制庁の畠山です。
0:42:54	まず、ご説明の趣旨、関西電力考えている趣旨は、
0:42:59	認識はいたしました。
0:43:01	誘いながらちょっと技術関係事項の総括っていうところが、
0:43:08	メインに、どういった範囲なのかっていうところが、
0:43:12	ちょっと書かれているのかっての疑義を感じていて中田他の職員に関するところは、何々課長除くというふうなところがメインに書かれている部分とかもあったので、この
0:43:23	何々課長除くとか何々所管業務除くって書かれている部分というのは、ちょっとどういう範囲においては書かれているのか、要は今回、
0:43:32	技術課長でそういった記載を必要としない理由というのは、ちょっとどういう理由なのかをもう少しご説明いただけますか。
0:43:41	そこがクリアになれば特段、
0:43:43	問題ないかなと思うんですが、
0:43:47	うん。
0:43:47	浅井辻川でございます。
0:43:52	まず、高浜大井につきましては、S s - D 業務の一元化というものを確保、実施をしてございまして、その際にですね、
0:44:02	業務範囲、業務の明確化という観点で、16 ページの表の右側の赤字の部分という記載職務の記載というものを追求をさせていただきました。
0:44:16	すいません繰り返しなるんですけど美浜は、一方で、今回初めて一元化というものをするというので、今の委員会では、もうこれ書けてない。
0:44:27	こういう明確化の北井高浜大井と同じようには書けてない。これが事実関係でございすけれども、今回申請でですね記載を統一することで、
0:44:38	先ほど申し上げました通り、技術、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:42	社長の職務に記載をしております。技術関係事項の総括というのは、いわゆる新規性前のですね、
0:44:53	ブランド運営にかかる、業務というものを指し示してございますので、そういう観点ですね今後においては、もう3サイト同じ期待で、ここが明確になると。
0:45:05	ということで、過去の何々課長除くというような形では今回変更申請をしていないという整理でございます。以上です。
0:45:20	規制庁西内ですけども。
0:45:23	何か今の話を聞いていてちょっとお互いの認識が若干ずれてそうだなと感じたのが、
0:45:31	畠山が言っていたのは、へん、例えば美浜の場合でいうと、変更前に、
0:45:38	変更前のまず現時点において、すべての業務がまずどっかしらで読めるべき読めているはずですよと。
0:45:45	その前提に立つと、今回S Dのやつを移管するのに以下元の技術課長が何で除くと書かれないのかがよくわからないっていうまず懸念から来ていて、
0:45:54	疑問から来ていて、それに対しての問い回答は、
0:45:59	いわゆる高浜大井とかは1回そのS E Dの業務の明確化っていうフェーズを過去にやっているから、何か変更前にすでに読める。
0:46:08	美浜に関してはまだその明確化っていうフェーズをやっていないので、何かいきなり降って湧いたように見えちゃうっていうそういう何かステータスの違いが来てるのかなと思うんですけど。
0:46:17	そういう意味でいうと、美浜の変更前っていうのは、今そのS E Dに関する業務が何か明確に読みづらいついていうところからスタートしていて、だからまずそれを明確化します。
0:46:29	その上で移管するとこういう形になりますっていう何か美浜だけツーステップになってるとかそういうふうに理解すればいいんですかね。
0:46:37	どうぞ。関西電力の乾でございます。補足ありがとうございますお聞きの通りでございます、我々、稲葉発電所についてはですね高浜と大飯よりも
0:46:49	再稼働のタイミングが遅れまして、1時からこのようなタイミングにナフサというところがですねあるんですけども今ご指摘をいただきました通り、
0:47:01	まずはやはりこのS A B関係の業務実際新規制基準も適用されている中、そこを明確化するという今おっしゃっていただいた継ぎ手という感覚認識がですね、
0:47:13	正しいという点で我々も同じ理解でございます。
0:47:19	衛藤ニシウチですだから高浜大井に関しては、変更前でもS A T上の業務が明確化されていて、それを移すだけなので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	これは一番わかりやすい例ですよ。美浜の場合は、今、
0:47:33	関西電力の方からも発言いただいたようなツーステップがあってまず明確、まず何かメインに読めなかったものを明確化するってフェーズがあって、そのあとに、
0:47:43	移管するっていうのがあるから何かちょっと変更前と変更後でそのそこがあるように見えちゃうっていうところだと思うと感じたので、そこら辺をちょっと丁寧に説明まずいただくというところなんではないかな。
0:47:56	関西電力の乾です。お話ししたアドバイスありがとうございますご指摘の通りでございまして明確化といかんというところのステップを踏んだ結果として、
0:48:07	稲葉タカノ生出の整合がとれるというところを改めて説明をさせていただくとそのような理解になるというふうに考えてございます。
0:48:17	規制庁西内です。まずはちょっとその誤解を与えないようにちょっと説明を丁寧にそこはしていただくということかなあと感じました。
0:48:29	そういう意味でハタケヤマが最初に、
0:48:32	聞いた質問の趣旨としては、変更前でまず現状能業務がどっかしらで読めていて、で、
0:48:40	それが変更後に移る、変更後で、その場所を移すだけだっていう申請だと思ったんですけど、変更前でちょっと読みづらい部分があったっていうちょっと一段階、
0:48:49	状況が変わったって理解すればいいんですかね。そういう意味で言うと、
0:48:54	はい。関西電力の伊井です。ご審議の通りですので少しし、補足資料の中で、今おっしゃっていただいたスタッフがご理解いただけるようにですね、少し丁寧な修正を考えさせていただきたいと考えております。
0:49:11	そうですね私は聞いていて何かそのまず、誤解がないように説明いただくところがスタートかなと思いましたのでそこをまずやっていただければいいなと思ったのと、何か大事なものは、一番最後の修正後、
0:49:24	の形で誤解がないように、な形になっている。
0:49:28	要は、一義的には多分関西電力が使うユーザー側の目線として、ちゃんと誰もが読んでも同じ理解をできるような動きになっているっていうのが大事なのかなと思いますので、
0:49:41	そういった目線で最後は確認ができればいいのかなとは思いました。衛藤ハタケヤマさん何か補足とか追加で何かここがちょっと足りないとかあればお願いします。
0:49:50	ありがとうございます。まさに発言したかった趣旨っていうのをちょっと丁寧にちょっとご発言いただいたので、これ以上特段この反転ではありません。
0:49:59	技術課長の判定ではありません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:06	じゃちょっと、どうぞ。はい。
0:50:10	おさせる部の乾です。そしたら今のご指摘を踏まえまして、改めてちょっと資料を修正をさせていただきたいと考えております。
0:50:20	はい、資料の修正承知しました。お願いいたします。
0:50:28	付けて原子炉規制庁の畠山です。衛藤。
0:50:31	今先ほどの分と同じ範囲なんですけども、職務の見直しにあたって、今回、
0:50:40	所長室長であったりそういったところの業務が、
0:50:46	保全計画課というところに、江藤東郷されるということ、ご説明いただいているかと思いますが、
0:50:53	今回、申請書ですね、
0:51:03	美浜の申請書をちょっと見ていただければと思うんですが、227 ページ。
0:51:13	ちょっとお開きいただきましたら、ちょっとお声掛けお願いします。
0:51:22	はい。関西電力のイヌイで次よろしくをお願いいたします。
0:51:25	はい。
0:51:26	227 ページのところで、今回変更とか追加のあった、安全防災室長及び所長室長はってなってるかと思うんですが、今回中所長室長が、
0:51:36	突然出てきているんですけども、この社長室長というのは、
0:51:39	美浜においてはどういう役割を持ってるんでしょうか。
0:51:51	関西電力辻川でございます。
0:51:54	今ご指摘いただいた美浜の申請書の 227 ページ、変更申請させていただいてるところは、
0:52:03	大規模損壊、
0:52:05	対応ということで、
0:52:11	消火活動というものが、訓練等々の対応で入っています。
0:52:16	で、消火対応ということでは、専属消防隊というものが、構内に常駐をしておりますけれども、
0:52:26	その専属消防隊の
0:52:30	管理をしているのが、美浜では、所長、室長であるということで、今回追加をしていると、一方でちょっとややこしいんですけど、高浜大井ではこれ保全計画課長になるんですっていう。
0:52:45	ここで所長室長が出てくるというのは、今申し上げた回答になります。以上でございます。
0:52:57	原子力規制庁の竹山です。美浜高浜では、おっしゃるように、保全計画課長になっていて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:04	単なる誤記なのかなとちょっと思ってたところだったんですが、この所長室長というのは、美浜だけ持っている色が違うということでしょうか。
0:53:16	関西電力辻川でございます。
0:53:19	まさにその通りでございます、
0:53:22	ここに関しては、美浜と高浜を違う部分と、
0:53:27	になります。
0:53:36	原子炉規制庁の畠山です。ちょっと少々お待ちください。
0:54:02	原子力規制庁の竹山です。美浜だけはその初期消火活動の体制の整備に関する業務が含まれるということで今書かれているということ。
0:54:12	ですかね。
0:54:15	関西電力辻川でございます。その通りでございます職務としては、美浜発電所のみ、所長室長不足して、
0:54:24	総括のための体制整備に関する業務というものがあるというところで、業務という整理です。以上です。
0:54:32	はい、わかりました。で、227 ページで書かれているこの追加のあったその社長室長って書かれてるところは、
0:54:40	今回の改正と、
0:54:41	どう関わるんでしたっけ。そこがよくわからなくて、
0:54:46	今回美浜のやつは特段変わって、
0:54:48	出なかったかなと思ったんですけども、
0:54:51	社長室長の職務は、これはどういう変更によって追加されたんですか。
0:54:59	関西電力辻川でございます。ちょっと説明が不足しており、申し訳ございません。
0:55:04	そういう観点ではご指摘の通り所長室室長の職務っていうのは今回変わっているわけではない変更申請はしているところではないという意味において、
0:55:16	220 名の変更というのは、すみません理由に書ききれてないですけども、記載の
0:55:24	適正化というか、我々今回この規程を作る時にですね、3 歳と美浜高浜大井で比較をいたしまして、
0:55:38	どこだったかな、
0:55:40	町長必要ではないんですけど保全計画課長になるんですけども、安全防災市長及び保全計画課長ということで、専属消防隊を管理している、町についても、
0:55:52	ここの医者主語としては記載をしておったというところで、今回、3 歳と考え方を統一する観点です。ですね、
0:56:03	美浜についても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:05	所長室長専属消防隊を管理する所長室長も追記した方が良いのではないかと、ということで、今回、書かせていただいております。ただ、実態、職務とか、発電所でやってることが何か変わるわけではなくって、
0:56:21	従前は、安全防災室長のもと、所長にも確認をとりながら訓練等の業務を行っておったところを、本店上は、
0:56:34	二つの所属長をですね、明記して、考え方の整合を図って、サイト間での考え方の整合を図ったという整理でございます。
0:56:43	以上です。
0:56:50	原子炉規制庁の畠山です。
0:56:54	何となく、理解できた部分もあるんですが、今ご説明いただいた内容も、各プラントの差異がある部分であったり、ちょっと、
0:57:04	検討の中身というものが、事細かにちょっと、
0:57:07	ご説明を聞かないとちょっと段階を踏んでちょっとご説明いただかないと難しい、理解には難しいところがあるかなと思うんですけども、そういった観点ではちょっと、
0:57:16	一つ前の指摘と同じように、ちょっと経緯を含めて、補足説明資料で記載いただくことは可能でしょうか。
0:57:24	浅井委員藤川でございます。承知いたしました。
0:57:29	原子炉規制庁武山です。よろしくお願いいたします。で、ちょっとその例にあたって今回確認をさせていただきたいのは、今回 227 ページにかけてこの社長室長追加されている部分というのは、
0:57:42	関西電力さんの資料で書かれているその P D C A でいうと、これは、
0:57:46	ルールに当たる部分と理解すればよろしいですか。
0:57:51	妥当性確認とかも入ったのですが、それもどういうふうに該当するんですかね。
0:58:00	関西電力辻川でございます。ここは P D C A の、
0:58:04	飯野瑠羽の業務に当たるとしてまして、基本的にピー・シー・エーっていうのは P につきましては、
0:58:12	要員とか教育訓練とか、それから資機材とか手順とかこういった計画、社内標準等で計画を作る、或いは変えて管理していくっていうのが、P、
0:58:25	に当たると考えておりまして、チェックアクションというのは、本規定の 18 条に基づく定期的な評価ということで、1 年に 1 回きっちり P D C A が回ってるかっていうのを、チェックを総括して行う。
0:58:39	ここが C A 業務と、それ以外、たくさんの活動がありますけれども、それらは個別の訓練実施も含めて、増強に当たると考えております。以上です。
0:59:08	原子力規制庁の畠山です。ご説明承知しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:14	私からは以上ですがちょっとお待ちください。
0:59:27	衛藤規制庁ニシウチです。
0:59:31	冒頭で最初に聞けばよかったかもしれないけど一応念のためレベルの確認なんですけど、
0:59:38	今日説明いただいた内容も含めて、今回の申請っていうのはあくまで、
0:59:44	組織の統廃合だとか、職務の 1 カーンとか、
0:59:52	あとは一部適正化はありますけど、そういった内容であっていわゆる今まで
0:59:59	審査の中で見ていた職務の内容、
1:00:02	実施方法とかそういう主体、そういうものが変わるわけではないというふうにまず理解をしていいですよってちょっとざっくりした質問なんですけど。
1:00:11	はい。関西電力の乾です。ご指摘の通りでございまして、はいおっしゃる通りでございします。
1:00:20	規制庁西内です。了解しますし、
1:00:24	あと、
1:00:25	あとはあれですかね移管、職務移管っていうところでいうと、実施主体が変わるっていうところはあるんですけど、
1:00:38	そこも、
1:00:41	プートン。
1:00:43	サブは影響ないよねっていうのは確認をされているっていうことだと思うんですけど、その補足はどこ、何かどっかにまとめてあるんでしたっけ。
1:00:55	それ実施主体が変わることによる影響の有無みたいなイメージなんですけど。
1:01:04	関西電力辻川でございします。今お手元に
1:01:10	例えば美浜の審査資料、パワーポイント以外も含めてございしますでしょうか。うん。はい。大丈夫です。
1:01:17	ではちょっと美浜の例で申し上げますと、
1:01:23	方針ページの 27 ページ。
1:01:29	お開きいただけますでしょうか。
1:01:36	少しお待ちください。
1:02:26	ニシウチですすいませんちょっと若干重くて、開けなくて今紙で見てるんですけど、あれですかね条文の整理表のところですかね、今、
1:02:38	言います審査基準規格、いつもおつけしている表でございしますちょっとどっちかっていうと、イメージ的には何て言うんですかね、実際に
1:02:49	例えば火災発生時とか有毒ガス発生時とかにやる業務があるじゃないですか。実際に

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:56	事象が発生したときに、
1:02:58	その実際に事象が発生した時にやる業務の実施主体が変わるっていうことも今回含んでると理解していいんですけど、それは含んでいないのでしたっけ今回。
1:03:12	そういう職務も移管していると思っていいのでしたっけ。
1:03:24	朝比奈ツジカワでございます。すいません。石井さん今、実施したい。
1:03:29	例えば火災とか、有毒ガスで、発生後に、
1:03:33	対応する内容についてとおっしゃっているのはすいません。
1:03:41	ちょっと趣旨がすいませんこちらで今掴みきれてないんですけども、補足いただいてもよろしいでしょうか。
1:03:48	例えば、有毒ガスでいうと、
1:03:51	発生した後に、当直課長が指示出したりとか連絡したりとかそういう対応あるじゃないですか。
1:03:58	そういう、まさにそういったDV事象とかSA事象が発生した時の対応のイメージです。
1:04:09	だから例えばですけど8ページ、b指名審査資料の8ページ目。
1:04:14	通し11ページかな。
1:04:17	通しの11ページでパワーポイントの右肩8ページ目のところでSA体制の一元化ってあるじゃないですか。
1:04:25	はい。これまさにSAの総括業務だからそのSA対応としてのSA対応の業務を移管するわけですね。その点検業務とか保守業務じゃなくて、
1:04:41	そういう意味、
1:04:44	実際の笠伊井と鹿又が添付2添付3の方の話ですね。
1:04:48	そういうところも全部移管をするって思えばいいんですね。
1:04:59	完全ツジカワでございます。すいませんちょっと今、
1:05:03	o n e v o i c e でちょっと、
1:05:05	イエスノーが答えきれないのでちょっと確認をしてですね、
1:05:12	かなり
1:05:13	いわゆるルーの業務のところの一部のことをおっしゃってると思うんですけども、
1:05:20	広範な範囲でありますんで、ちょっと申請書の確認を、
1:05:25	させてください。
1:05:27	すいません規制庁ニシウチですそういう意味だと、すみません私の問いがちょっと意地悪だったかもしれないですけど、
1:05:33	ちょっとそういう意味ではこちらも添付2添付3とか実際に変わってる部分申請書であるのでちょっと確認した上で、何か疑問があればまた

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	よっとお聞きさせていただきます。現状はとりあえず結構です大丈夫です。
1:05:47	はい。ちょっとしました。
1:06:10	えっと原子力規制庁側から、今回のヒアリングで、事実確認を行う。
1:06:16	範囲は以上になります。引き続きちょっと確認をして例えば技術的論点がないかとか、
1:06:21	というのはちょっと確認した上で、何かありましたらヒアリングをセットさせていただきたいと考えております。関西電力としてよろしいでしょうか。
1:06:31	関西電力の乾です。もちろん問題ございません。どうぞよろしくお願いいたします。はい。
1:06:37	承知しました。では
1:06:40	今回、ヒアリングの中で、審査資料をですね一部修正する部分があるかと思えます。これをちょっとまた改めてご提出をいただきたいと考えておりますが、
1:06:50	この資料の提出スケジュール感、今お話できる範囲でちょっとお話しただけですでしょうか。
1:06:59	大向電力の乾です。今週中目標で作成を進めまして、改めて、タイミングが決まりましたらここを通じてご連絡をさせていただきたいと考えてございます。
1:07:11	原子炉規制庁の畠山です。今週中めどということで承知いたしました。具体的なスケジュールについては東京支社通じてまたご連絡を事務的にお願いいたします。東京支社よろしいでしょうか。
1:07:23	はい東京支社レップ承知しました。
1:07:34	原子炉規制庁の竹山です。全体を通じて、以上となります。特段、
1:07:38	関西電力側から何もなければ、これでヒアリングを終了させていただきますがよろしいでしょうか。
1:07:44	事業本部からお願いします。
1:07:47	関西電力の乾です。こちらは特にございません。
1:07:52	はい、ありがとうございます。東京支社もよろしいでしょうか。
1:07:58	はい東京支社シミズです。こちらからも特にありません。
1:08:02	はい、ありがとうございます。では本日のヒアリングを終了させていただきます。ありがとうございました。
1:08:09	ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。